



国立嘉義大学

National Chiayi University



●学部学生 約10,352人 ●大学院生 約2,905人 ●教職員 約853人

ホームページ <http://www.ncyu.edu.tw/>

交流協定締結年月日：2013年4月25日 主管学部：創造工学部



国際交流の特色

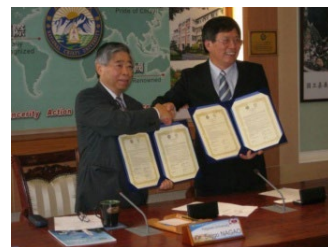
現在の国立嘉義大学は、2000年に国立嘉義技術学院と国立嘉義師範学院の合併によってできたもので、台湾中南部の嘉義県（台中と台南の間）に位置する。師範学院、人文芸術学院、管理学院、農学院、理工学院、生命科学院、獣医学院の7学院（日本の学部に対応）からなり、4キャンパスに分散する。

嘉義へは、高松空港から台湾への直行便を利用すれば、5時間程度で到着できる。北回帰線の通る町として知られるが、近年では映画KANO、国立故宮博物院南部院区の開館など話題の多い地域である。また近隣では阿里山が観光地として有名である。

近年は相互の複数の学部が交流しており、交流は拡大している。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度	R4	R5	R6
受入・派遣			
学生の受入	7	24	11
学生の派遣	1	10	38
研究者・職員の受入	0	22	2
研究者・職員の派遣	5	4	42
オンライン交流参加者（本学）	48	22	7
オンライン交流参加者（相手機関）	62	0	3



国立嘉義大学での協定調印式(H25.4.25)

教員からの声

国立嘉義大学（嘉=ジァダー=カダイ）は、複数教育機関の合併によってでき、7学部（交流締結当時は6学部）4キャンパスを有する地方国立大学であり、まるで香川大学（カダイ）と双子のようです。前身の一つである嘉義農林はかつて甲子園の中等学校野球で準優勝した歴史があり、映画“KANO”でよく知られています。農学関係では蘭の育種も有名です。香大と嘉大は複数の学部（工学・教育学・農学関連分野）で交流を行っています。宮川先生と私も、蘇（スー）先生と共同研究を行っている関係で、学生を見学に連れて行ったり、先方から学生が実験に來たり、交流を行っています。距離が近く、治安もよく、フレンドリーな台湾の大学をぜひ訪れてみてください。

創造工学部教授 須崎嘉文

学生からの声

【2023年、合同シンポジウムを対面にて開催】
シンポジウムでは、異なる専門分野からの研究者たちとの交流があり、それが異なる学問領域の連携や協力の可能性を示してくれました。異なる言語やコミュニケーションのスタイルに慣れることで、国際的な研究や協力が円滑に進むためのスキルを向上させることができました。教員や生徒の方はとても親切で、異なる文化を理解し合う機会ともなりました。日本食のお好み焼きに興味を持っており、一緒に食べに行ったことが記憶に残っています。国立嘉義大学の人々との交流は国際的な視野を広げるきっかけとなりました。今回のシンポジウムは私にとって良い経験となりました。

令和5年度 創発科学研究科 創発科学専攻 竹村知晃